

アジア圏の共通課題～ 国際移民労働者について～

地球大学特別プログラム

大橋隼人
柳井優哉
张雨琪
刘炜珊
Prerna Gupta



問題背景

- 移民労働者の増加
 - 違法移民（シンガポールでの経験、引き起こす問題）
 - 地元民との軋轢
- 移民対策をせねばならない状況

現地講義



TWC2



政策提言

- 移民労働者が労働組合に加入できる環境づくり
- 最低賃金が最低限の生活を保障するシステムづくり
- 全ての移民の子供が義務教育を受けられる社会づくり

労働組合

- 移民も(既存の)組合に加入できる権利
- 非政府組織・労働者
- 最低賃金等にかかわる要求の場、居場所の提供、組合の国際協力

労働組合

課題

- 地元労働者の反発・企業・受け入れ政府からの反発←人権的アプローチ

雇用契約

- 契約義務化（年単位、契約解除規定）
- 生活保障（医療保険、最低賃料、食費）
- 5年以上の勤労に対して「市民権」付与
地元住民同様の権利（×参政権）

雇用契約

課題

- 財政支援 ← 職業訓練・長期採用
- 地元住民の拒否感、消えぬ差別感情 ← 長期対策・教育

教育改革

- 子供向け—公立学校で、市民権を得た移民の子供に無償教育
- 労働者向け—母国で職業訓練
 - 送り出し国の責任・労働者数規制
 - 市民権獲得後、母国で訓練士としての資格を得る

教育改革

課題

- 長期の財政支援←財源の分散
- 新型教育モデルの質←実施後評価
- (低所得)地元民からの反発←国内行政

労働
組合

最低
賃金

労働

社会

市民
権


教育



移民=問題という意識

(望まない)移民が生まれる構造





御清聴ありがとうございました!